

便秘症治療薬の院内フォーミュラリ

監修 消化器内科 島田友香里医長
2021.9.22 初版作成 薬剤部 前万紀子
2024.4 薬価改訂

- 【便秘症治療の基本】
- 非刺激性下剤を毎日適量内服
 - 排便回数は2回/日～1回/日を目標に、便性を整えていく
 - 刺激性下剤はレスキューとしてのみ使用する（耐性の可能性）

機械的消化管閉塞又はその疑いがある患者

→ **消化器内科にコンサルト** 

※（ ）内は1日薬価
2024.4時点

腎機能

正常時

マグミット (¥45.6)
(2歳以上の小児のみ) モビコールLD (¥131.4)

効果なし

下記4薬剤と併用
もしくは
下記4薬剤への変更

目安
マグミット
1.5g程度まで

eGFR<30またはCr>1.5~2.0
75歳以上の方は下記薬剤を考慮

腎機能障害時使用可

アミティーザ 12 μ g
(¥199.6)

水分分泌促進

- 1日2回食後 1回2Cap
- 用量依存的に効果発揮
- 一包化○ (30日間)
- 粉碎×
- ※妊婦に禁忌
- ※投与初期に吐き気 (若年女性に多い)

若い人への使用は避ける

リンゼス錠 0.25mg
(¥69.1~138.2)

水分分泌促進+腹痛軽減

- 1日1回食前 1回1~2錠
- 腹痛を改善
- 一包化、粉碎×
- ※下痢を避けるために投与開始時は前治療を減量するか切替え (可能な限り単剤投与へ移行)

効果あり
下痢しやすいため食前
効き過ぎの場合は減量

院外専 ガーフイス錠 5mg
(¥168.4)

水分分泌促進+蠕動運動亢進

- 1日1回食前 1回2錠
- 腸の動きが悪い場合に使用可 →刺激性下剤減らせる可能性あり
- 一包化、粉碎○
- ※重篤な肝障害に使用不可
- ※併用注意あり (P糖タンパク質阻害作用)

肝障害時使用不可、相互作用あり
胆嚢切除患者にも使用可

モビコールLD
(¥131.4)

浸透圧性下剤

- 粉末を水に溶解し服用
- 最大6包まで増量可能
- 患者に合わせ調節出来る
- 初回用法は1日1回 (以降1日1~3回) 用量は年齢による
- ※増量は2日以上の間隔をあける
- 増量幅の規定あり

調節しやすい
溶解後の味の好みに個人差あり

レスキューとして使用

刺激性下剤：センノシド (¥5.1~10.2)、ピコスルファートナトリウム (¥76/本)

○漢方薬について ※エビデンスレベル、推奨度は低い

桃核承気湯

麻子仁丸

大建中湯

1日18錠 (¥90)
(錠剤 3錠/包)

1日7.5g (¥74.25)
(2.5g/包)

1日15g (¥205.5)
(2.5g/包)